ねじの緩みが目視点検で可能です。

クラディス工法とは

ねじと基材に蛍光顔料を含む弾性塗膜の下塗り 層と、紫外線を遮光する硬質塗膜の上塗り層を 形成させる。ねじが緩み回転すると、下塗り層は 伸びるが上塗り層は割れて、下塗り層が露呈す る。そこに紫外線を照射し、下塗り層の蛍光顔料 を発光させて点検する工法である。

短時間で正確な点検 POINT ()1 紫外線ライトを当てるだけでわかります。 専用照射器で遠望目視点検可能 **POINT 02** 点検コスト削減 POINT 03 点検速度が違います。

技術の原理説明 クラディス工法の下塗り・上塗り塗料を ねじと基材に予め塗布することで、緩みの目視点検が可能に。 紫外光 塗膜の構成 上塗り塗料 発光 発光 [塗装による単純な二層構造] 下塗り塗料 ボルト ボルトが緩み 塗膜が割れる 延びる

- ●2層の透明塗膜で構成。
- ●下塗り層に蛍光顔料を含有する弾性塗膜、上塗り層に紫外線を遮光する硬質塗膜を形成。
- ●ねじの締結部が緩み回転すると、下塗り層は弾性塗膜なので伸び、上塗り層は硬質塗膜なので破断して、 下塗り層が露出される。
- ●紫外線照射によって露出された下塗り層が発光する。



紫外線照射で発光無



紫外線照射で発光

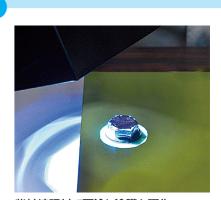
クラディス工法の施工工程 [UV硬化型塗料]







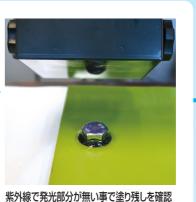
紫外線で塗料を発光させ塗り残しを確認



紫外線照射で下塗り塗膜を硬化



上塗り塗料を塗布





紫外線照射で上塗り塗膜を硬化

施工完了

UV硬化型塗料 ねじ1本が数分で施工可能

- ●下塗り塗料を塗布 紫外線照射器で塗りムラ、塗り残しが無いか確認 (塗装できていれば発光)
- 2紫外線照射器で下塗り塗料を硬化させる
- 3上塗り塗料を塗布 紫外線照射器で塗りムラ、塗り残しが無いか確認 (塗装できていれば発光せず)
- 4紫外線照射器で上塗り塗料を硬化させ、施工完了

下塗り・上塗り の2本セット



クラディス工法 ねじ用塗料の特徴

- ①塗膜を紫外線で硬化させるので施工時間が短縮
- ②回転角度1度未満で検出できる高感度塗料
- ③専用照射器で遠望点検可能

- 4暗所でも点検可能
- 5誰でも点検可能
- ⑥遠望点検は点検安全性を向上